
資料 1
(当日版)

いきいき安心プランⅦまっど

アンケート調査設計の概要

「いきいき安心プランⅦまつど」アンケート調査票設計の流れ

1次調査	①若年者調査	今回のアンケート調査票設計対象
	②一般高齢者調査（JAGES調査対象者は除く）	
	③事業対象者・要支援認定者調査	
	④要介護認定者調査（軽度）（施設利用者除く）	
	⑤要介護認定者調査（重度）（施設利用者除く）	
2次調査	⑥施設利用者調査	令和2年2月頃 アンケート調査票設計予定
	⑦介護事業者従事者調査（経営者・管理者）	
	⑧介護事業者従事者調査（従事者）	
	⑨介護事業者従事者調査（介護支援専門員）	
	⑩町会・自治会調査	
	⑪居住系施設利用者	
	⑫特養入所待機者調査	
⑬在宅介護実態調査	実施中	

1. 1次調査・2次調査の区分け

・大きく高齢者・認定者など一般市民向け調査と、介護従事者、施設利用者など対象者限定調査とに分け、前者を1次、後者を2次とすることとし、今回は1次調査対象の5調査票設計を行うこととした。

2. 前回調査票の設問項目マトリクス表の作成・整理

・①③④⑤については前回の調査票をもとに、②については前々回の調査票をもとに設問項目の一覧表を作成。各調査票ごとにどのような設問項目が設定されていたかマトリクスベースで確認し、設問の要不要について確認した

3. 国から示された第8期ニーズ調査設問項目追加項目（※）の反映（※…本資料P3～P6を参照）

・10/23に国から示された調査項目設問をマトリクス表に反映するとともに、各調査票について必須項目・オプション項目について整理した。

4. 「いきいき安心プランⅦまつど」策定に基づく基礎資料のための設問作成と反映

・計画書の章立てごとに、基礎資料作成のための設問を作成し、マトリクス表に反映した

5. 調査票全体での整理・統合

・調査票全体を俯瞰し、設問から導き出す施策の有効性など設問設定の必要性有無を確認、整理した。

第6期～第8期ニーズ調査概要 (厚労省10/23介護保険事業計画説明会追加資料)

第6期・第7期・第8期ニーズ調査の概要

名称		(第6期)日常生活圏域ニーズ調査	(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の身体機能の状況、閉じこもり、認知症等のリスク要因や世帯状況など地域の高齢者の状況を把握した上で、地域が抱える課題に対応したサービスや事業の目標設定を行い、計画に位置づけ、介護保険事業計画策定に活用すること 調査で把握されたリスクのある高齢者に対する介護予防事業への誘導などの支援を行うこと 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること 介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること
調査対象		特に限定なし	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		96問	必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目35問 オプション項目29問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 	
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ADL/老研式指標(IADL・社会参加・社会的役割) 転倒リスク/認知機能(CPS) 	
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 等 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 	
	その他			・認知症にかかる相談窓口の認知度
標準的な実施方法		解説や案内なし	「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録		なし	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)

地域診断
見える化システム

地域診断
見える化システム

第8期調査項目の変更点①②

(厚労省10/23介護保険事業計画説明会追加資料)

第7期→第8期の調査項目の変更①

一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会での検討を勘案し、社会参加の状況を幅広く確認することを目的として、調査項目の追加等したうえで調査を実施する。

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※① - ⑦それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

通いの場等、社会参加と介護予防効果の相関から設問追加となっている。(次ページ資料を参考)

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※① - ⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (介護予防のための通いの場等について各市町村が使っている名称(通いの場の種類がある場合は列挙する)を入れる)など介護予防のための通いの場				4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

⑤の欄には、調査を実施する市町村が実施している介護予防のための通いの場等について、調査対象者が回答しやすいよう、各市町村が使っている名称を入れて調査します。

追加

オプション
→必須

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

選択肢
追加

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

選択肢
追加

社会参加と介護予防効果の関係について

スポーツ関係・ボランティア・趣味関係のグループ等への社会参加の割合が高い地域ほど、転倒や認知症やうつリスクが低い傾向がみられる。

調査方法

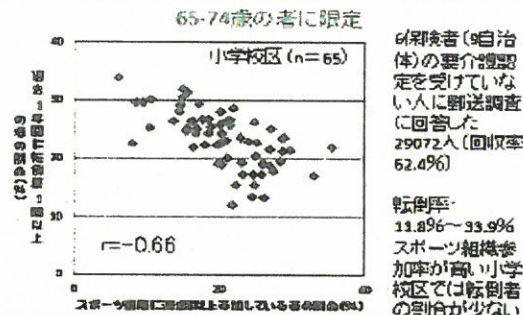
2010年8月～2012年1月にかけて、北海道、東北、関東、東海、関西、中国、九州、沖縄地方に分布する31自治体に居住する高齢者のうち、要介護認定を受けていない高齢者169,201人を対象に、郵送調査（一部の自治体は訪問調査）を実施。
112,123人から回答。
（回収率66.3%）

【研究デザインと分析方法】
研究デザイン：横断研究
分析方法：地域相関分析

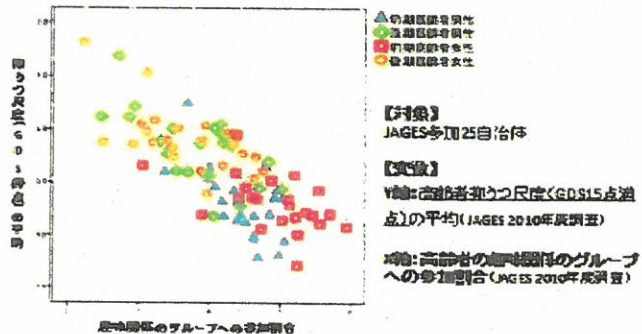
JAGES（日本老年学的評価研究）プロジェクト



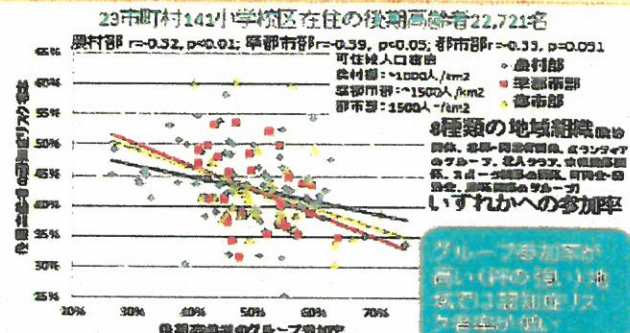
スポーツ組織への参加割合が高い地域ほど、過去1年間に転倒したことがある前期高齢者が少ない相関が認められた。



趣味関係のグループへの参加割合が高い地域ほど、うつ得点（低いほど良い）の平均点が低い相関が認められた。



ボランティアグループ等の地域組織への参加割合が高い地域ほど、認知症リスクを有する後期高齢者の割合が少ない相関が認められた。



図表については、厚生労働科学研究費（研究代表者：近藤克剛氏）からの提供
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000021717.pdf

見える化システムを使った松戸市の圏域地域分析においても同傾向が見られている

第7期→第8期の調査項目の変更③

「認知症施策推進大綱」(令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定)において「認知症の相談窓口について、関係者の認知度2割増加、住民の認知度1割増加」がKPIとして設定された。その達成状況を定期的に把握するため、ニーズ調査する機会を活用して、認知症に関する相談窓口の認知度を調査することとした。

(新設)



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1. はい	2. いいえ

2

認知症の方あるいはご家族の方が相談する先・相談経路について、医療連携等も含む地域包括ケアシステムの取り組み推進が求められる。

アンケート調査票設計について

前回（一般高齢者は前々回）の調査票設問数については以下の通りであった。

	①若年者	②一般高齢者	③事業対象者・ 要支援認定者	④要介護認定者 (軽度)	⑤要介護認定者 (重度)
全設問数（枝問含）	64問 (うち12問が枝問)	140問 (うち37問が枝問)	144問 (うち18問が枝問)	154問 (うち26問が枝問)	154問 (うち26問が枝問)

※前回調査時は約300問

今回調査票の設計にあたり、①～⑤の設問項目をできるだけ揃えることで、世代間や要介護有無による比較を行えるよう留意した。また、全体の設問数が多くならないよう、既存の設問についても要不要を今一度精査し、必要項目のみ掲載することとした。

①若年者調査

増やした主な設問	削除した主な設問
<ul style="list-style-type: none"> 引きこもりに関する質問 社会参加の頻度、内容等 認知症の方の有無（国設問） 認知症の相談窓口の認知度（国設問） 将来希望する介護 介護職のイメージとして持っているもの （介護を行っている方に対して）今後の介護の方針 フレイルの認知度 地域共生社会の認知度、実践について 市で行っている認知症施策の認知度、希望等 小多機、定期巡回サービスの認知度、希望等 権利擁護・成年後見人制度に関する質問（認知度、利用意向、虐待防止に必要な取組等） 福祉まるごと相談窓口、高齢者いきいき安心センターの認知度、利用の意向 在宅医療の認知度、利用意向 ケアラー、ヤングケア、ダブルケアの認知度 	<ul style="list-style-type: none"> JAGES独自調査項目 介護保険法における自立支援や介護予防の考え方、費用負担の考え方を知っているか 介護保険制度について知っているもの（40歳以上が全員加入し保険料を納める、費用の1割負担等）

アンケート調査票設計について

②一般高齢者調査（前々回調査との比較）

増やした主な設問	削除した主な設問
<ul style="list-style-type: none"> 引きこもりに関する質問 社会参加の頻度、内容等 通いの場の参加頻度（国設問） 愚痴を聞いてくれる・看病してくれる人の有無 愚痴を聞く・看病する人の有無 知人と会う人の機会 かかりつけ歯科医、薬剤師の有無 認知症の方の有無（国設問） 認知症の相談窓口の認知度（国設問） 介護職のイメージとして持っているもの フレイルの認知度 地域共生社会の認知度、実践について 市で行っている認知症施策の認知度、希望等 総合事業の認知度、希望等 小多機、定期巡回サービスの認知度、希望等 権利擁護・成年後見人制度に関する質問（認知度、利用意向、虐待防止に必要な取組等） 福祉まるごと相談窓口、高齢者いきいき安心センターの認知度、利用の意向 在宅医療の認知度、利用意向 ケアラー、ヤングケア、ダブルケアの認知度 	<ul style="list-style-type: none"> JAGES調査項目の一部 インフルエンザ予防接種、肺炎予防接種を受けたかと発症 介護保険制度について知っているもの（40歳以上が全員加入し保険料を納める、費用の1割負担等）

③事業対象者・要支援認定者調査

増やした主な設問	削除した主な設問
<ul style="list-style-type: none"> 外出を控える理由と必要な支援 通いの場の参加頻度（国設問） かかりつけ歯科医、薬剤師の有無 認知症の方の有無（国設問） 認知症の相談窓口の認知度（国設問） フレイルの認知度 地域共生社会の認知度、実践について 市で行っている認知症施策の認知度、希望等 総合事業の認知度、希望等 小多機、定期巡回サービスの認知度、希望等 権利擁護に関する質問（制度の認知度、虐待防止に必要な取組等） 福祉まるごと相談窓口、高齢者いきいき安心センターの認知度、利用の意向 在宅医療の認知度、利用意向 ケアラー、ヤングケア、ダブルケアの認知度 	<ul style="list-style-type: none"> JAGES調査項目の一部 インフルエンザ予防接種、肺炎予防接種を受けたかと発症 介護保険制度について知っているもの（40歳以上が全員加入し保険料を納める、費用の1割負担等）

アンケート調査票設計について

④要介護認定者（軽度）調査

増やした主な設問	削除した主な設問
<ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ歯科医、薬剤師の有無 • フレイルの認知度 • 地域共生社会の認知度、実践について • 市で行っている認知症施策の認知度、希望等 • 総合事業の認知度、希望等 • 小多機、定期巡回サービスの認知度、希望等 • 権利擁護に関する質問(制度の認知度、虐待防止に必要な取組等) • 福祉まるごと相談窓口、高齢者いきいき安心センターの認知度、利用の意向 • 在宅医療の認知度、利用意向 • ケアラー、ヤングケア、ダブルケアの認知度 	<ul style="list-style-type: none"> • JAGES調査項目の一部 • インフルエンザ予防接種、肺炎予防接種を受けたかと発症 • 介護保険制度について知っているもの(40歳以上が全員加入し保険料を納める、費用の1割負担等)

⑤要介護認定者（重度）調査

増やした主な設問	削除した主な設問
<ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ歯科医、薬剤師の有無 • 小多機、定期巡回サービスの認知度、希望等 • 権利擁護に関する質問(制度の認知度、虐待防止に必要な取組等) • 福祉まるごと相談窓口、高齢者いきいき安心センターの認知度、利用の意向 • 在宅医療の認知度、利用意向 • ケアラー、ヤングケア、ダブルケアの認知度 	<ul style="list-style-type: none"> • インフルエンザ予防接種、肺炎予防接種を受けたかと発症 • 介護保険制度について知っているもの(40歳以上が全員加入し保険料を納める、費用の1割負担等)

アンケート調査票設計にあたり

前回調査設問数

	①若年者	②一般高齢者	③事業対象者・ 要支援認定者	④要介護認定者 (軽度)	⑤要介護認定者 (重度)
全設問数 (枝問含)	64問 (うち12問が枝問)	140問 (うち37問が枝問)	144問 (うち18問が枝問)	154問 (うち26問が枝問)	154問 (うち26問が枝問)



今回調査設問数

+35問

+19問

+21問

+3問

-43問

	①若年者	②一般高齢者	③事業対象者・ 要支援認定者	④要介護認定者 (軽度)	⑤要介護認定者 (重度)
全設問数 (枝問含)	99問 (うち21問が枝問)	159問 (うち28問が枝問)	165問 (うち23問が枝問)	157問 (うち21問が枝問)	111問 (うち19問が枝問)

参考：国 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (必須+オプション項目)

	ニーズ調査
全設問数 (枝問含)	74問 (うち6問が枝問)